

Table with columns for 事務事業名, コード, 課, 所属班, 電話番号, 予算科目, 根拠法令, etc.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes checkboxes for 単年度繰返, 期間限定複数年度, etc.

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳(費目等), ② 延べ業務時間の内訳. Lists items like 臨時雇用賃金, 延べ業務時間, etc.

Table with 7 columns for years (21-26) and rows for 事業費 (国庫支出金, 都道府県支出金, etc.) and 人件費 (正規職員従事人数, etc.).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping 手段 (Main Activities), 目的 (Objectives), and 上位目的 (Higher Objectives) to specific indicators and metrics over time.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns for ① 開始したきっかけは何か?, ② 事務事業を取り巻く状況, ③ この事務事業に対して関係者からの意見や要望.

事務事業名	海上公民館活動費 2110管理費含む	課名	生涯学習課	班名	社会教育班
-------	-----------------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 生きがいをみにつけてもらえば、市民の生涯学習が熱心に行われることに繋がる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 生涯学習の対象者は全年齢を対象としているものである。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 講座内容が趣味的な内容だけのものについては、民間カルチャーセンター等でも実施しているので民間で行ってもらえばよい。しかし、地域の特色を活かした講座や趣味的な内容の講座に地域課題や現代的課題を講座の中に織り込んで実施することにより「いつでも、どこでも、誰でも」学ぶことのできる機関として、市民が気軽に活動できる機会を提供することは行政として重要である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 多数の市民が受講しているが、海上公民館の講座を初めて受講する者はあまり多くない。もっといろいろな年代や他地域の方の利用ができる様な工夫が必要。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 講座内容や教室運営の方法を検討しながら、自主活動できるグループや人材を育成することにより量を増やさなくても成果は得られる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：() <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他組織で行っている事業と連携することにより、地域の特色を活かした講座や地域課題、現代的課題の学習が期待できる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 講座等で受益者負担を取り入れれば多少は削減できる。(現在は材料費については受講者負担で行っている。)開館時間短縮の検討。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 臨時職員や業務委託では、市民のニーズや地域課題、現代的課題の学習について対応できない。業務をNPOなどにボランティアに任せることはできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 同じ講座に複数年受講している者がいるので、受講者が限定されてしまっている。教室は定員を決めて開催しているが、受講料は徴収していないので、簡単に欠席してしまう方がいる。しかし、応募者の多い教室については定員を超えて応募した方は次回募集まで待ってもらうこととなるので、受講者が簡単に欠席しないような工夫が必要。(小額でよいので受講料を徴収してはどうか。)

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公民館活動は旭市内で一番活発に行われている。旧海上町の時代から公民館の自主的な活動が盛んで、特に海上公民館友の会は公民館活動だけではなくボランティア活動にも熱心である。このような団体の育成も公民館の大きな任務である。公民館一元化で他の公民館的な施設の職員が削減される方向であり、海上公民館の企画力・調整力を更に強化していかなければならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	
(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？	
① 新規受講者が増えるような講座の開催や運営を行う。(現状把握、新規受講者が増えない理由・原因分析) ② 受講料の徴収。(受講料の徴収により簡単に欠席しないよう意識を変える。小額でよい。) ③ ④	
(4)改革・改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	
① 現在開設講座で同一講座の受講は在講年数を設ける。 ② 専門知識のある職員の育成を行う。(市全体での検討課題) ③ 新しい講座を開設する場合、適任な講師が少ない。(近くに在住者なしや講師料等に問題あり)講師の発掘。 ④ 今まで公共施設が行う事業については、無料であったため、市民に受け入れられるかが課題となる。	

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			